

## 【画像解析】特殊信号発光機検知支援システムの試験導入

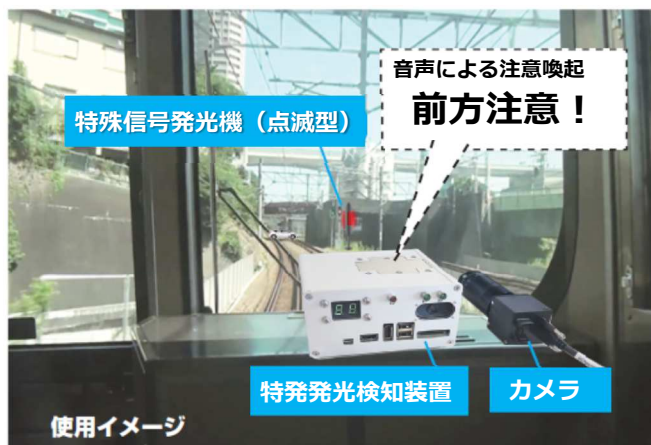
2020年1月24日

日本信号株式会社

日本信号は、西日本旅客鉄道株式会社（以下、JR西日本）と「特殊信号発光機検知支援システム」を共同開発いたしました。本システムは、列車の先頭に設置したカメラ映像からの画像解析により特殊信号発光機の赤色点滅を検知し、運転士にアラーム発報を行うものです。

鉄道業界における高解像度カメラを活用した踏切状態の検知・支援システムの開発・試験導入は本件が初めてとなります。本システムにより踏切傷害事故等の未然防止を目指し、さらなる安全性向上に貢献してまいります。

※実施時期・試験導入台数：2020年1月下旬から8月頃まで（予定） 山陽線、伯備線など計3編成



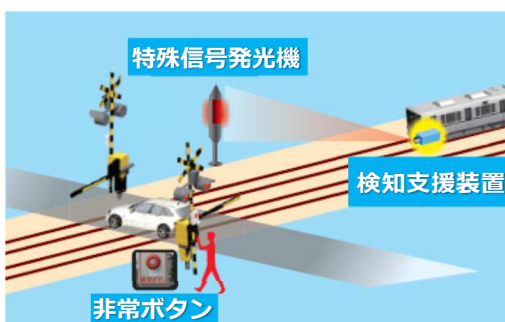
**従来** 踏切支障等により特殊信号発光機が発光した場合、運転士の目視により確認し、ブレーキ操作を実施していた。

### 本システム導入後

カメラで撮影した映像により

- ① 特発の発光を自動的に検知
- ② 運転士へ音声により注意喚起

特発発光の認知性を向上させ、踏切障害事故等の重大事象を未然に防止



### 運転士への通報の流れ



問い合わせ先

日本信号株式会社 総務部

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail [info@signal.co.jp](mailto:info@signal.co.jp)